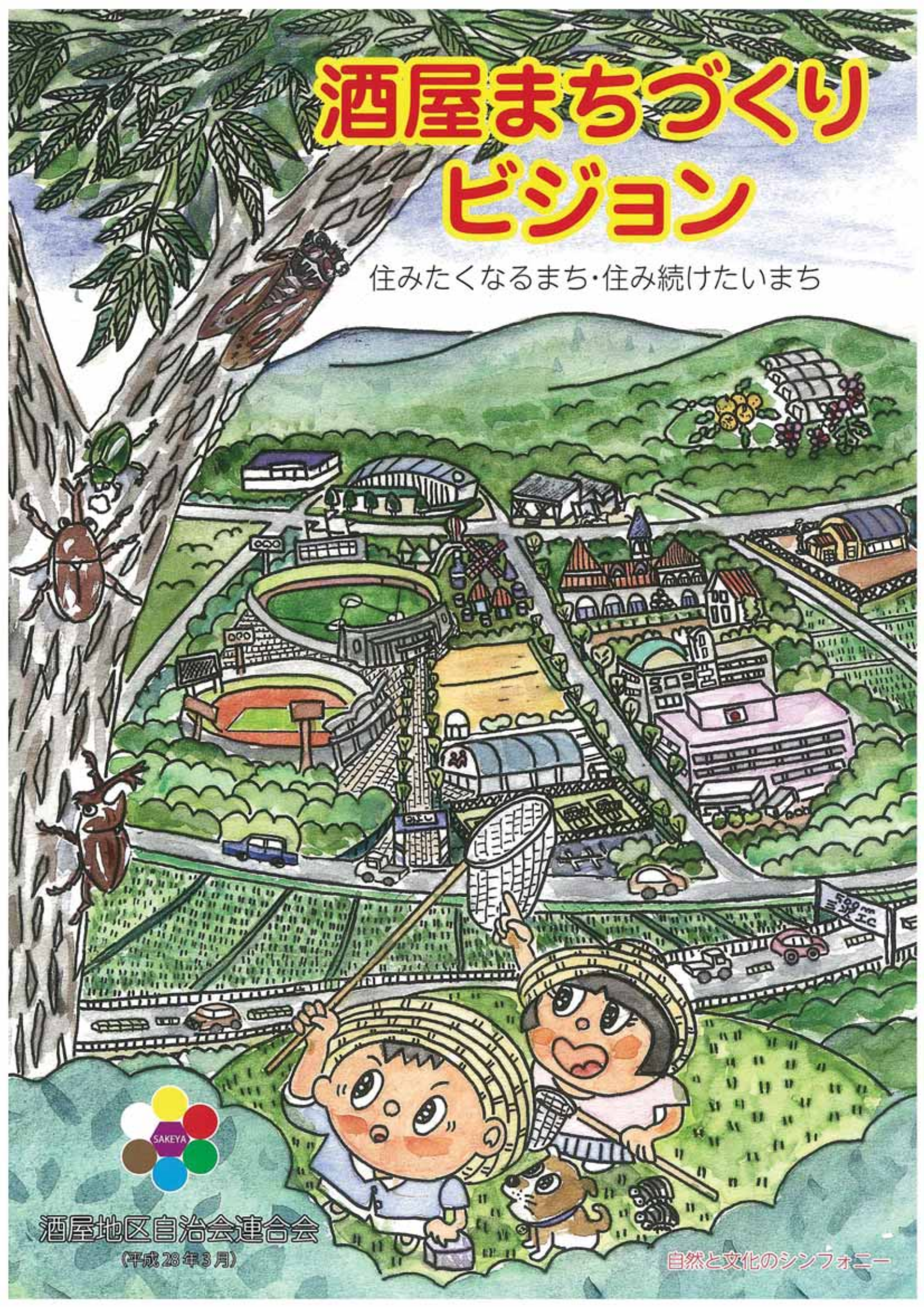


酒屋まちづくり ビジョン

住みたくなるまち・住み続けたいまち



酒屋地区自治会連合会

(平成28年3月)

自然と文化のシンフォニー

はじめに

1 「酒屋まちづくりビジョン」の改定

平成 17 年（2005）年に酒屋地区の将来像とその実現方向を描いた指針として「酒屋まちづくりビジョン」を策定し、平成 18 年から 10 年間にわたり酒屋のまちづくりに取り組んできました。

しかし、その後、酒屋地区は、この 4 年間人口が増加し続け、新たな公共施設の整備による交流人口の増加や商業施設の進出など、大きく変化しました。また、尾道松江線の全面開通など酒屋地区を取り巻く環境も大きく変化しています。

このようなことから、まちづくりビジョンを社会環境の変化を踏まえたものとし、酒屋地区の将来像を住民みんなで共有して一緒にまちづくりに取り組んでいくため、この度、従来の「酒屋まちづくりビジョン」を発展的に見直し、改定を行いました。

2

「酒屋まちづくりビジョン」の構成及び期間

■構成

このまちづくりビジョンは、社会環境の変化と課題を踏まえたこれからの酒屋地区を築いていくための基本理念を掲げ、まちづくり分野毎の基本目標、将来像及び基本施策から構成されています。

■期間

このまちづくりビジョンの計画期間は、平成 28 年度から平成 37 年度までとします。

改定の背景と課題

1 改定の背景

■人口の増加

酒屋地区の人口は約 1,900 人で、三次市内のほとんどの地区において人口が減少している中でこの 4 年間人口が増加し続けている地区であり、小学校の児童数も 10 年前に比べて 1.5 倍近くに増えています。

■公共施設の集積

酒屋地区は県営工業団地を有するとともに、市立三次中央病院や広島三次ワイナリー、みよし運動公園、奥田元宋・小由女美術館、トレッタみよしと公共施設が集中しており、来訪者も多く、医療・産業・観光・交流の広域的な拠点としての役割が期待されています。

■市街化の進行

公共施設の集積等を背景に民間の大型商業施設の進出や住宅団地の開発等、地域の市街化が進んでおり、新しい住民の増加も顕著です。

■自然環境の豊かさ

酒屋地区は自然環境に恵まれており、市街化が進んでいるものの全体的には田園風景が多く、農村景観を保っています。



※注）人口は、平成 24 年の 1,829 人に対し、平成 28 年が 1,920 人となり、毎年増加している。（数値は、毎年 2 月 1 日現在の住民基本台帳人口による）

2 酒屋地区の課題

■地域づくり

- ◆まちづくりの主役は住民であり、多様な主体がまちづくり活動に参加しやすい仕組みづくりが必要となっています。
- ◆交流人口が増加し、賑わいと活気のあるまちとなるよう拠点性を活かしたまちづくりが必要となっています。また、新しい住民が増加しており、住んでみたいと思う暮らしやすく快適なまちづくりが求められています。
- ◆鳥獣被害や耕作放棄地等が増えており、自然と共生した美しい里地・里山づくりが必要となっています。

■人づくり

- ◆新しい住民が増加しており、従来にも増して祭りやスポーツなど地域に住む楽しさを通じて住民同士の絆を強めていくことが求められています。
- ◆未来の担い手である子どもたちが夢と希望を抱き、将来に向かってたくましく生きる力を持つよう、地域全体で健やかに育てていくことが必要です。
- ◆誰もが生涯にわたって自らの能力を発揮し、地域で活躍できる環境づくりが必要となっています。

■安全・安心な暮らしづくり

- ◆地域の見守りや支えあい、生活環境の整備などにより、高齢者が安心して快適な日常生活を送れるようにすることが必要です。
- ◆子どもを安心して生み育て、子育ての喜びと幸せを実感できることが必要となっています。
- ◆東日本大震災や県内での大規模土砂災害をきっかけに防災意識が高まり、住民間の結びつきが強く意識されるようになっていきます。酒屋地区を安全・安心な地域とするため、住民が一体となって防災・減災に取り組むことが必要となっています。

まちづくりビジョンの 基本理念

酒屋地区の以上の課題から、賑わいと活気にあふれ、のどかで癒しを与えるやさしく安全で地域外の人からも支持され、応援されるようなまちとなることをめざして、まちづくりの基本理念を次のように決めました。

－住みたくなるまち・住み続けたいまち－

まちづくりビジョンの3つの柱

地方分権の時代、住民が自分たちのまちについて考え、決めて、行動する「住民自治」がこれまで以上に求められています。

まちづくりの主役は住民であり、自分たちの地域に対する関わり方、住民同士の関わり方という、住民の思いや姿勢がまちづくり活動の原動力となります。

このような考えから、今回の「酒屋まちづくりビジョン」も、従来どおり、住民の関わり方の在り様から、取り組む方向を「ちいき愛」、「ふれ愛」、「たすけ愛」という3つの柱で整理しました。

したがって、～酒屋で咲かそう ちいき愛・ふれ愛・たすけ愛のはな～を基本理念のサブタイトルとします。

－住みたくなるまち・住み続けたいまち－

～酒屋で咲かそう ちいき愛・ふれ愛・たすけ愛のはな～

取り組む3つの柱

地域への関わり

ちいき愛

住民同士の関わり

ふれ愛

安全・安心への関わり

たすけ愛

ちいき愛

ふれ愛

たすけ愛

まちづくりの 取組方向

まちづくりの基本理念に基づいて、具体的な取り組む方向を次のとおり定めます。
(次頁)



ちいき愛



基本目標

住民のみんなが主役となり、訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいと思う魅力と活力にあふれた酒屋づくりをめざします。

将来像

- 地域住民みんながまちづくり活動に参加しています。
- 交流人口が増加し、賑わいと活気にあふれたまちとなっています。
- 身近なサービス環境が整い、暮らしやすい快適なまちとなっています。
- 地域資源が有効に活用され、活力あるまちとなっています。
- 自然・環境が大切にされ、清潔で癒しを与えるまちとなっています。



基本施策

■まち

- **みんなが主役のまちづくり**
 - ・ 住民参加で協働のまちづくりに取り組みます。
 - ・ 情報発信システムの構築に取り組みます。
 - ・ 地域リーダーの育成に取り組みます。
- **拠点性を生かしたまちづくり**
 - ・ 交流拠点機能を活用したまちづくりに取り組みます。
 - ・ 親しみやすいまちづくりに取り組みます。
- **自然と共生するまちづくり**
 - ・ 美しくて懐かしい里地・里山づくりに取り組みます。
 - ・ 鳥獣害に強い里づくりに取り組みます。
 - ・ ゴミのないまちづくりに取り組みます。
 - ・ 自然を大切にする心が育つまちづくりに取り組みます。



■地域資源

- **伝統、歴史、文化遺産、天然記念物などを大切にするまちづくり**
 - ・ 酒屋の歴史、伝統文化、天然記念物など地域資源の掘り起しと活用に取り組みます。
 - ・ 伝統文化の継承に取り組みます。
- **地域資源を活用し特産物開発を推進するまちづくり**
 - ・ 酒屋の特産物の開発に取り組みます。
 - ・ 地産地消の促進に取り組みます。

■環境

- **花いっぱいのもちづくり**
 - ・ 花のあるまちづくりに取り組みます。
 - ・ 山野草自生地の保全に取り組みます。
- **「もったいない」の心を大切にするまちづくり**
 - ・ ゴミの減量化・資源化及び分別収集の啓発に取り組みます。
 - ・ 温室効果ガス排出抑制の推進に取り組みます。

ふれ愛

基本目標

次の世代を担う子どもたちが、生まれ育ったふるさとに誇りを持てるように、家族や地域との繋がりを大切にするまちづくりをめざします。

将来像



- 子どもたちが大きな夢を持ち大人となり、地域の一員として活躍しています。
- 色々な世代の人たちが集い学ぶ生涯学習の場が提供され、学ぶことの喜びに輝いています。
- 誰もが、ふるさとの歴史・伝統・文化に触れ合い、学び、そして育むまちとなっています。

基本施策

■こども

- **こどもが酒屋を誇りに思えるまちづくり**
 - ・地域の宝として「元気・勇気・やる気の酒屋っ子」の育成に取り組みます。

■まなぶ

- **生涯学習参加者の活動が盛んなまちづくり**
 - ・生涯学習の場の提供と活動の充実に取り組みます。
- **「知恵袋銀行」の設立と活用をめざすまちづくり**
 - ・地域で一芸に秀でた人の登録と活用に取り組みます。



■まつり

- **伝統ある祭りを大切にするまちづくり**
 - ・地域の伝統行事を後世に引き継ぐ環境づくりに取り組みます。
- **ふるさと祭りの継続と充実したまちづくり**
 - ・学習成果の発表と地域交流の充実に取り組みます。

■運動

- **こどもから高齢者まで、スポーツに親しむまちづくり**
 - ・生涯スポーツ人口の拡大に取り組みます。
 - ・スポーツを通じた世代間の交流に取り組みます。
- **健康寿命を延ばすまちづくり**
 - ・「酒屋健康の日」を定め健康づくりに取り組みます。

たすけ愛



基本目標

助け合いの心を育て、住民相互の絆を強めながら、安全・安心なまちをめざします。

将来像

- こどもからお年寄りまで、誰もが生きがいを持って、暮らせるまちとなっています。
- みんな仲良く助け合って安全・安心に暮らせるまちとなっています。
- 明るいあいさつが交わされる絆の強いまちとなっています。



基本施策

■福祉

- 高齢者や障がい者の見守り、支え合う優しいまちづくり
 - ・隣近所、常会内での見守り活動に取り組みます。
 - ・助け合い活動の推進に取り組みます。
- 福祉ボランティア体制が充実したまちづくり
 - ・民生児童委員、社会福祉協議会と協力して、サポート体制の確立に取り組みます。
 - ・ふれあいミニサロンの活性化に取り組みます。
- 高齢者や障がい者の生きがいを感じるまちづくり
 - ・高齢者の豊かな知恵や知識を生かした活動の場づくりに取り組みます。
 - ・障がい者が参加し易い活動の場づくりに取り組みます。



■安全

- 生活道が安全快適に利用できるまちづくり
 - ・各常会、PTAによる除草作業など生活道、通学路の維持管理に取り組みます。
 - ・交通安全協会と連携して交通安全に取り組みます。
- みんなの力による犯罪のない安全・安心なまちづくり
 - ・地域安全推進員等による青色防犯パトロールの活動に取り組みます。
 - ・「こども110番の家」の拡充、こどもの見守り活動等の推進に取り組みます。
 - ・特殊詐欺への対応等、地域の防犯力を高める啓発活動の推進に取り組みます。
 - ・声かけ運動の推進に取り組みます。
- みんなの力で災害に強い、安心して暮らせるまちづくり
 - ・自主防災組織の充実強化と防災訓練の継続的な実施に取り組みます。
 - ・防災マップの定期的な更新と周知に取り組みます。
 - ・消防団、消防後援会との連携による地域防災力の強化に取り組みます。

symbol mark



外側の6つの円は、酒屋の単位自治会の数を表わし、中心の六角形は酒屋地区自治会連合会を表しています。
色は、伝統ある酒屋町民運動会で用いられている旗の色とし、中心の紫は酒屋で栽培されている名産ピオーネのワインカラーを配しました。
全体の図形は、6つの単位自治会が連携して酒屋に大輪の花を咲かすことをイメージしています。

酒屋音頭

作詞 国貞 俊子 / 作曲 坂井 玄三

一 ハアー酒屋よいとこ 東に北に
西に南に 道ひらけ
歴史文化の 香りも高く
今じゃ三次の 今じゃ三次の
おもてぐち

二 ハアー酒屋よいとこ ぶどうの丘に
舌もとろける 甘い味
可愛 あの娘の 瞳のような
黒い真珠が 黒い真珠が
呼んでいる

三 ハアー酒屋よいとこ 工業団地
はずむ槌音 ひびく町
かえす こだまに 陽は輝いて
活気みなぎる 活気みなぎる
皆の里

四 ハアー酒屋よいとこ 住みよいところ
望み大きく のびる町
ともに心を あたため合って
明日の幸せ 明日の幸せ
築こうよ

表紙絵：行政 豊彦

酒屋地区自治会連合会

広島県三次市西酒屋町 281-3

TEL:0824-63-1850

mail:sakeya@m-city.jp